

次世代の北鹿創る人材を

私は今年4月、系列の石川職能短大から転勤してきまじうに感じました。

大館勤務は10年ぶり2度目です。私がいけない間に大館市は人口が1万人以上減り、周辺の高校が大館桂桜高校、鹿角高校、能代科学技術高校へと統廃合され、当校の置か

れた環境は大きく変わったように感じました。村上さんは電

子情報技術科第4期生（平成26年3月卒）で、在学時は私のゼミでロボット競技のプログラミングに励み、小中高生へのロボット教育も頑張ってくれました。地元IT企業で働きたいと、同社へ入社しま

した。変化の激しい現代において、変わることも大切ですが変わらない安心感も必要だと思います。

久しぶりの大館なので、4月は企業・団体、関係機関などを訪問させていただきまし

秋田職業能力開発短期大学校

能力開発部長

徳田 孝明

生が立派に地元で活躍する姿には、感銘をおぼえずにはいられませんでした。

また同じ頃に大館圏域産業祭の会議があり、私は初参加で緊張していました。出席し

てみると面識のある大館商工会議所の信濃屋仁さんがいらしたので安心して、ご挨拶をさせていただきました。信濃屋さんは当校の情報技術科第1期生（平成7年3月卒）で、過去の北鹿新聞コラムにもご登場いただいた方です。地元で働き地域のために頑張りたいと、当時コメントされたとおり、現在は経営支援課の課長さんとして、地元企業や産業を支

え、地域の発展には欠かせない存在となられていました。お二人の他にも、大館に戻ってから、修了生と会った

ずと高まると思っています。我々も学生にもっとその情報を与えていかなければと思います。

当校の修了生の地元就職率は約65%です。確かに他大学と比較すると高い割合と思いますが、私はこの割合をもっと高めたいと考えています。

就職先は最終的に学生が選ぶものですが、学生がもっと地元企業を知り、地元で働く価値や地元に貢献できる喜びが分かれば、地元就職率はあ

今年度のコラムは、「北鹿の学び舎から」学校紹介・活躍する修了生」のタイトルで、当校と鷹巣技術専門校で計11回掲載させていただきました。コラムを通じて、地元にも素晴らしい企業があり、我々のような教育機関があることを、より多くの方に知っていただけたのではないで

ロボット大会の司会をする修了生の村上さん④



修了生の信濃屋さん



そして多くの若者が地元の良いことを知り、地元を支えたいと強く想い、次世代の北鹿を創ってくれることを願っています。

（終わり）